

公共神学は、「恩恵のみ」(sola gratia)の宗教改革原理に基づいて文化・社会との対話を目指す神学です。

日本キリスト教教育センター 公共神学シンポジウム

公共性、 成人教育、 こども

日時

2025年1月11日[土]
13:30-16:00

会場

オンライン(Zoom)開催

参加費

無料

※申込フォームから参加登録をお願いします。
折り返しZoomミーティングのIDをお送りします。

申込フォーム

<https://x.gd/cp5WU>



【プログラム】

イントロダクション

- 国民幸福度を上げるために／稲垣久和 | 東京基督教大学名誉教授

講演

- 成人教育の起源と展開：デンマークの国父グルントヴィの教育観／坂口 緑 | 明治学院大学社会学部教授
同大学 キリスト教研究所所長
- こどもの神学を目指して／吉岡良昌 | 東洋英和女学院大学名誉教授

パネルディスカッション

- 日本人キリスト者のアイデンティティと成人教育
 - ジェンダーとこどもの人権
- ／坂口緑 × 吉岡良昌 × 稲垣久和 (コーディネーター)

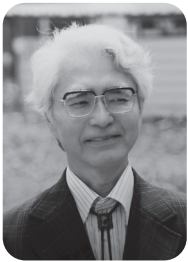
▲ デンマークのグルントヴィの思想の影響を受けて、
賀川豊彦、杉山元治郎らが1927年に始めた農民福
音学校の参加者(兵庫県瓦木村[現西宮市]の杉山
校長宅前で。写真提供：賀川豊彦記念松沢資料館)

【全体司会】

三好明久 | ニュー・クリエーション・チャーチ牧師
クリスチャンライフ学院主任講師

公共性、 成人教育、 子ども

プロフィール



稲垣久和

Hisakazu Inagaki

東京基督教大学名誉教授。(財)賀川事業団雲柱社理事。東京都立大学大学院博士課程修了(理学博士)、アムステルダム自由大学で哲学・神学を学ぶ。著書に『宗教と公共哲学』(東大出版会)『働くことの哲学』(春秋社)『日本型新自由主義の破綻』(明石書店)『神の国と世界の回復』(教文館)『閉塞日本を変えるキリスト教—公共神学の提唱』(いのちのことば社)など多数。近年の関心は日本での公共神学の推進にある。



坂口 緑

Midori Sakaguchi

明治学院大学社会学部教授。明治学院大学キリスト教研究所所長。東京大学大学院総合文化研究科単位取得満期退学、日本女子大学大学院人間社会研究科博士後期課程修了。博士(教育学)。川崎市教育委員。専門は、生涯学習論、市民社会論。著書に坂口緑『多文化化するデンマークの社会統合』(花伝社 2024年)、坂口緑ほか編『デンマーク式生涯学習社会の仕組み』(ミツイパブリッシング 2022年)、訳書に坂口緑ほか訳『概説グレントヴィ』(花伝社 2024年)がある。



吉岡良昌

Yoshimasa Yoshioka

1947年千葉県生まれ。19歳の時に洗礼を受け、キリスト教教育者を目指す。国際基督教大学大学院修了後、東洋英和女学院大学保育子ども学科で教鞭をとり、現在、同大学名誉教授、および日本基督改革派教会引退教師。社会福祉法人萌保育園園長(2017-21年)。主な著書に『キリスト教人格教育論』(春風社)がある。最近では、大学付属かえで幼稚園のホールで、月一度の親子による「美しが丘礼拝」を実施し、絵本の読み聞かせと聖書からみた絵本の学びを続けている。



日本キリスト教教育センターとは

JCEC(Japan Christian Education Center)は1967年5月に、キリスト教精神に基づく教育およびそれに関連する分野の学問的研究と実践活動を行うことを目的として神学者、教育学者、牧師、財界人らによって設立されました。当初は学校教育を専門とする人々によって担われてきましたが、日本社会の経済発展や国際社会での文化交流の深まりと共に、学校教育よりも広くその研究対象を広げていく必要性が認識され、諸学問の研究者やビジネス界の人々が理事・評議員に加わりました。それにもない、より実践的にかつ文化との接点を広くもつ内容の公開研究会へと移行し、現在のような成人教育の場へと発展しています。特にカルト集団が政治や国民生活をむしばんでいることを鑑みて、人権と自由と隣人愛を市民社会に育むこと、また気候変動、核汚染、エネルギー危機、ジェンダー、子どもの課題に対処できる希望の神学としての公共神学に力を入れていきます。

(日本キリスト教教育センター沿革より)

一般財団法人 日本キリスト教教育センター

お問い合わせ

◆ E-mail: jcec3tr@yahoo.co.jp

Website: <https://jcec.web.fc2.com/>